



グリーンロード推進協議会 会員だより

小平市グリーンロード
推進協議会

VOL .17

発行日 平成18年1月10日

【 新年あけましておめでとうございます 】



目次

会長挨拶	1
副会長挨拶	
小平市グリーンロード推進協議会 第二回役員会	2
小平グリーンロード立体に決まる	
秋の小平グリーンロードウォークと収穫祭	3
齋藤素巖 野外設置台座寄付受付	
齋藤素巖ブロンズ作品小平コレクション	
狭山 境緑道 花街道部会の活動	
秋をさがしに紅葉の玉川上水を歩きませんか 健康促進散策部会	
役員名簿	4
樹木の名札掛け	
編集後記	

あけましておめでとうございます。

「小平市グリーンロード推進協議会」の発足から8年、昨年は協議会にとって大きな転換点となる年でした。その一つが、組織改正を行い役員・評議員会方式から、総会方式へと組織のあり方を変えたことでしょう。総会方式を採用することで、組織がスリムになっただけでなく、より皆さんに開かれた組織とすることができました。5月に行われた第一回総会後の懇親会には、多くの方にご参加頂き、貴重なご意見をうかがうこともできました。いかに皆さんがこの活動に心を砕き、ご協力を頂いているかを実感することができ、あらためてこの活動の重要性を心に刻む出来事でした。

また昨年は、「齋藤素巖グリーンロード美術館」構想の端緒として、武蔵野美術大学と連携して彫刻展も実施。グリーンロード沿いの彫刻展示に寄付を募ったところ、全15点の作品が1週間を待たずに応募がいっぱいになる盛況となりました。

「グリーンロード」を次の世代に受け継ぐ財産としていくために、今後とも、変わらぬお力添えを下さいますようお願い申し上げます。

小平市グリーンロード推進協議会 会長 後藤 亘

明けましておめでとうございます。

今年は、先々の佳い話題として、小平に31年住まれた小平ゆかりの彫刻家(近代日本彫刻の重鎮)であった「齋藤素巖」のブロンズ像が台座の寄付と相俟って、愈々、小平グリーンロード(狭山・境緑道)野外公園に設置する運びとなり、新たに彫刻の散歩道が生まれます。

これを一つの大きな契機のもとに、それぞれの部会を核としたアイデア・プランを編みだし新しい試みを積み重ね推進協議会の行事として定着するあしがかりをかためていきたいと思ひます。

このような発動を通して心ある方々から発意、口コミ、手つなぎ等、有志との連携に支えられての果実を求めていきましょう。

小平市グリーンロード推進協議会 副会長 庄司徳治

【 小平市グリーンロード推進協議会 第二回役員会 開催 】

日時 平成17年10月18日 午後7時～9時

場所 小平市役所 6F 大会議室

議題

1. 協議事項

(1) 小平市グリーンロード推進協議会からの提案と骨子について

「ガーデニングコンテスト・オープンガーデン事業」計画(案)

17年度開催した「ガーデニングコンテスト」を、今後推進協議会の事業として実施する。また、新たに、小平市園芸組合が中心となって「オープンガーデン事業」に取り組む。この事業は、市民に住宅の庭を開放してもらい、個人住宅レベルでの緑化推進を図り、公園都市小平の実現を目指す先進的な取り組みです。

「夢と炎の小平グリーンロード灯籠まつり」計画(案)

歴史ある灯籠飾りを小平の伝統行事として捉え、小平グリーンロード狭山・境緑道の小平駅から花小金井駅間で夏に「(仮称)夢と炎の小平グリーンロード灯籠まつり」を開催する案です。夏の風物詩として小平グリーンロードを一大観光スポットにすると同時に、子供を巻き込んだ歴史教育にもなります。

「花を咲かせ隊」計画(案)

農業を行いながら高齢化等で十分な耕作ができず、耕作が滞りがちな農地に、耕作者を援助する形で「花咲かせ隊」のボランティアを結成し、農地に花の種(例えば、菜の花畑、コスモス畑など)を播種する事業です。これにより小平グリーンロードの散策者に憩いの場を提供するとともに、農業の担い手対策の一助とする計画です。

「花小金井駅南口広場整備」計画(案)

花小金井南口広場は、狭山・境緑道に面しており、開設して5年程の環境整備途上にある広場です。ここを小平グリーンロード・狭山境緑道の活性化の拠点と位置付けます。広場中央の花壇部分に、経済栽培発祥の地の農作物であるブルーベリーを植栽して「ブルーベリーの里こだいら」構想の案内塔として、またオープンガーデンの第一号としてシンボル化するほか、齋藤素巖ブロンズ像や素巖案内看板を設置し「(仮)齋藤素巖グリーンロード美術館」の誘導口として活用する計画です。

(2) 平成18年度の推進協議会予算について

上記の事業を実施するために、推進協議会への市補助金について協議しました。

2. 報告事項

(1) 秋の小平グリーンロードウォークと収穫祭の開催について

(2) 齋藤素巖作品展及び野外展示事業について

【 小平グリーンロード立体 】に決まる

都市計画道路3・4・7号府中清瀬線(新小金井街道)の小平グリーンロードにかかる部分は今年3月末の開通にむけて準備が進められていますが、西武新宿線との立体交差箇所の名称が「小平グリーンロード立体」に決定したとの通知が東京都よりありました。名称の決定にあたっては、小平市や地元自治会の意見を参考にしたとのことです。

【 秋の小平グリーンロードウォークと収穫祭 】



日 時 平成17年11月23日(水)午前10時～午後2時30分

場 所 中央公園 来場者 3,046人

野菜の販売、焼き鳥、お菓子、その他模擬店

武蔵野美術大学「玉川上水展覧会」「小平野外展」

ウォーク 花小金井駅～八坂～上水小橋～中央公園 14km

参加者 1,546人

好天に恵まれて予想以上の人出で盛況のうちに終了しました。

【 齋藤素巖 野外設置台座寄付について 】

市報10月20日号で募集要領発表、24日から受付を開始しました。初日に11基の申し出があり、わずか一週間で募集終了という盛況ぶりでした。新年より着工し、3月末までに完成予定です。

【 齋藤素巖 ブロンズ作品 小平市コレクション展 】



日 時 平成17年11月15日(火)～11月27日(日)

場 所 中央公民館

会期中延べ入場者 1,413人

盛況のうちに終了しました。

また、武蔵野美術大学でも「齋藤素巖の仕事」展同時開催
入場者 1,277人と盛況でした。

【 狭山 境緑道 花街道部会の活動について 】



< 小川東元気村の作場と落ち葉プール >

10月19日公募に応募した人達を含めて10人が参加しました。
作場として60㎡を耕し、杭打ち、縄張りを行いました。

2種類の苗と、6種類の種子を蒔きました、来春から苗場として活用
します。 池田春寿

【 秋をさがしに紅葉の玉川上水を歩きませんか …… 健康促進散策部会 】



日 時 平成17年11月19日(土) 9:30～12:00

コ ー ス 東大和市駅～玉川上水～武蔵砂川駅 約6km

参 加 者 9人

当日は天候に恵まれ、予定になかった都立薬草園の紅葉も見学
をして、その後玉川上水、武蔵砂川まで上水の流れや木々の名前
を一つずつ確認しながら楽しく解散予定地まで歩いた。

素敵な秋を見つけることができ皆歓声とため息の連発でした。

きっと皆様、心と体のリフレッシュができて明日への英気が養われた
ことと思います。参加していただきました皆様ありがとうございました。

奥野 富久子



小平市グリーンロード推進協議会

(連絡先)

小平市小川町2 - 1333

電話 042 (346) 9581

Fax 042 (346) 9575

グリーンロードというすばらしい自然に恵まれた小平市。この貴重な財産を守りそして活用することによって、ずっと住み続けたいまちと、にぎわいのあるまちをめざします。

みなさまのご協力をお願いいたします。

ホームページ

<http://www12.ocn.ne.jp/~kodaira/>

【 役員 】

会長 後藤 亘 顧問 神石 實、佐藤純一、松岡芳夫
副会長 庄司徳治
理事 滝島和好、竹内武男、横田 弘、木村芳夫、藤田 淳
陣内利博、加藤弘茂、窪田 治、石橋正春、奥野富久子
会計 小山一江
監事 竹内博行、波多野 明

活動部会連絡会長 石橋正春
活動部会連絡副会長 奥野富久子
活動部会
玉川上水自生野草を守り育てる会
あじさい公園あじさいボランティア
健康促進散策部会
斎藤素巖グリーンロード美術館部会
狭山 境緑道花街道ボランティア部会
ふるさと定期市部会
小平グリーンロードウォークイベント部会
花まつり部会
収穫祭部会
なんでも応援部会

事務局 JA東京むさし小平支店 内藤雅夫
小平商工会 芝木陽六
産業振興課 加藤一仁、森 琳子、長岡美穂、深見勝彦

【 狭山・境緑道 樹木名札掛け 】



12月3日(土)、小平グリーンロードの花小金井駅～たけのこ公園間の樹木に名札を付ける作業を行いました。森林(もり)を楽しむ会とエコガイドネットワーク、推進協議会の有志で木の切り出しやニス塗りをしました。名札の文字は花小金井5丁目在住の杉本さんの手によるものです。こうして出来た27枚の名札は、各メンバーや市報を見て参加した人々の手によって取り付けられました。当日は樹医による樹木の解説もあり、観察を楽しみながら作業することができました。

今後もこの活動を続けていきたいと考えておりますので、みなさんぜひ参加してください。ご協力くださったみなさん、お疲れさまでした。

【編集後記】

年末に、玉川上水沿いの保存樹木の保全活動に参加する機会がありました。樹林の中は思いのほか広く集めても集めても落ち葉がいっぱいです。4m×9mの落ち葉のプールも2時間ぐらいで大人の腿ぐらいの深さになりました。いつも使う筋肉とは全然別の筋肉を使います。けっこう疲れる作業なのに、なぜか気持ちがいいのです。これが樹々のもつ癒しのパワーというのでしょうか。多くの人々がこのような心地よさに気づいて、活動がどんどん広がっていけば小平で「ナショナル・トラスト」も夢ではないかとも思いました。

そうだ！今年の初夢は「ナショナル・トラスト」にしようっと。

森 琳子